



# PARTYBOX 1000



取扱説明書

---

## 重要な安全上の注意

### 使用前に線間電圧を確認する

PARTYBOX 1000 は100～240ボルト、～50/60Hz のAC電流で使用するように設計されています。本製品向け以外の線間電圧への接続は安全上の問題および火災の危険があり、ユニットに損傷を与える可能性があります。特定のモデルの電圧の必要性、またはお住まいの地域の線間電圧についてご質問がございましたら、壁のコンセントにユニットをつなぐ前に販売店にご連絡ください。

### 延長コードは使用しない

安全上の問題を避けるため、ユニットに付属した電源コード以外は使用しないでください。本製品に延長コードを使用することはお勧めしません。全ての電気器具と同様、電源コードをじゅうたんまたはカーペットの下に通したり、上に重いものを置かないでください。破損した電源コードは、公認のサービスセンターがただちに工場の仕様に適合したコードに取り替える必要があります。

### AC電源コードは丁寧に扱う

ACコンセントから電源コードを外す時は、常にプラグを引っ張ってください。絶対にコードを引っ張らないでください。かなりの長期間スピーカーを使用するつもりがない場合、ACコンセントからプラグを外してください。

### キャビネットを開かない

本製品内にはユーザーの役に立つ部品はございません。キャビネットを開けると感電する可能性があり、製品に何らかの改造を行うと、お持ちの保証書が無効になります。水が誤ってユニット内に入った場合、ただちにAC電源から本体を取り外し、公認のサービスセンターにご相談ください。

## てんかんの警告

人によっては、点滅する光を見た時に、てんかんの発作を起こすことがあります。

# 目次

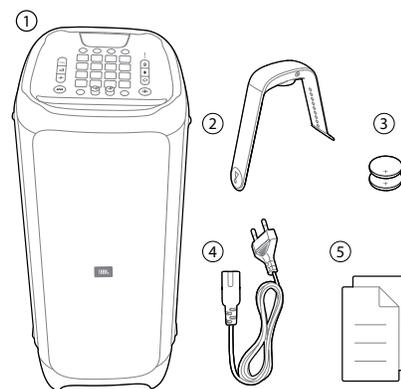
<b>重要な安全上の注意</b>	<b>2</b>	<b>9. 設定</b>	<b>12</b>
<b>1. はじめに</b>	<b>4</b>	9.1 TWSモード	12
<b>2. 同梱品</b>	<b>4</b>	9.2 デモモード	12
<b>3. 概要</b>	<b>5</b>	9.3 スタンバイモード	12
3.1 トップパネル	5	<b>10. 仕様</b>	<b>12</b>
3.2 DJパッド	6	<b>11. トラブルシューティング</b>	<b>13</b>
3.3 背面パネル	7	<b>12. 法令順守</b>	<b>13</b>
<b>4. 設置</b>	<b>7</b>	<b>13. 使用許諾</b>	<b>14</b>
<b>5. 電源をオン</b>	<b>8</b>		
<b>6. PARTYBOXを使う</b>	<b>8</b>		
6.1 BLUETOOTH接続	8		
6.2 USB接続	9		
6.3 AUX端子接続	9		
6.4 LINE IN	9		
6.5 マイクまたはギターのミックス・サウンド	10		
<b>7. 移動</b>	<b>10</b>		
<b>8. エアジェスチャー・リストバンド</b>	<b>11</b>		
8.1 電源オン/オフ	11		
8.2 電池の交換	11		
8.3 ジェスチャーによる、エアジェスチャー・リストバンドを使っ てのPARTYBOXのコントロール	11		

## 1. はじめに

お買い上げいただきありがとうございます!この説明書には「JBL PARTYBOX 1000」スピーカーの情報が記載されています。少々お時間を割いて、この取扱説明書に目を通されることをお勧めします。製品の説明と、設定してスタートするための手順が記載されています。製品をご使用になる前に、安全上の注意を全て読んで理解しておいてください。

この製品、その設置または操作について何かご質問がありましたら、小売店もしくはカスタマー・サービスにご連絡いただくか、または当社のウェブサイト、[www.jbl.com](http://www.jbl.com)にアクセスしてください。

## 2. 同梱品

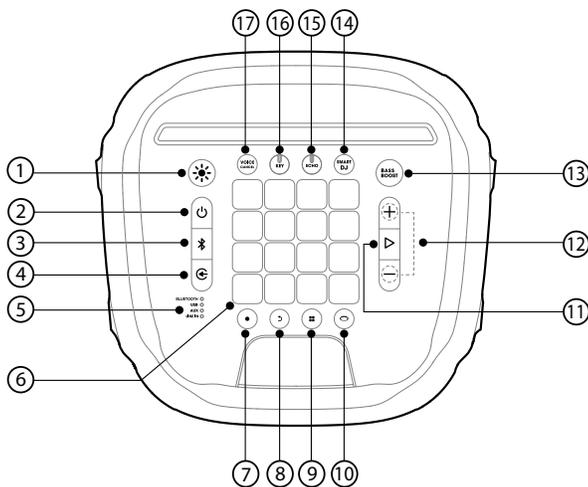


- 1) メインユニット
- 2) エアジェスチャーリストバンド:
- 3) エアジェスチャーリストバンドのバッテリー (2x3V CR2032)
- 4) 電源コード\*
- 5) クイックスタートガイド、安全シート、保証書

\*電源コードの本数とプラグタイプは地域によって異なります。

### 3. 概要

#### 3.1 トップパネル



- 1) ✨
  - 押すと、ライトショーのパターンが切り替わります。
  - 2秒間押し続けると、ストロボライトがオンまたはオフになります。
- 2) ⏻
  - 押して電源をオン/オフにします。
- 3) 📶
  - 押すと、Bluetoothペアリングモードに入ります。
  - 20秒間押し続けて現在のデバイスの接続を解除し、新しいデバイスとペアにします。
- 4) 📶
  - 繰り返し押して、ミュージックソースを選択します (Bluetooth/USB/AUX/LINE IN)。
- 5) 📶
  - 現在のミュージックソースを表示するLEDインジケーター。
- 6) 🎛️
  - DJコントロールキー。
- 7) ●
  - 押すと、新しいトラックを記録します。最大8つのトラックを記録できます。
- 8) ↶
  - 押すと、最後に記録されたトラックを削除します。
  - 2秒間押し続けると、全ての記録されたトラックを削除します。
- 9) 🎛️
  - 繰り返し押して、サウンド・エフェクトモードを選択します (ドラム/キーボード/ピアノ/DJ/カスタマイズ)。
- 10) ○
  - 押すとカラー・コントロール・モードに入り、フロントパネルとリストバンドの異なるライトカラーを切り替えます。

- 11) -/+
  - 押すと音量が増減します。
  - オーディオ出力をミュート状態にするには、両方を同時に押します。
- 12) ▷
  - 押すと、音楽を再生または一時停止します。
  - 2回押すと、次のトラックを再生します。
  - 3回押すと、前のトラックを再生します。
- 13) **BASS BOOST**
  - 繰り返し押してサウンド・ブースト・レベル1とレベル2を切り替えたり、電源をオフにします。
- 14) **SMART DJ**
  - 押してスマートDJをオンまたはオフにします。
- 15) **ECHO**
  - 回転させてエコー音量を調節します (カラオケモードを有効にするにはマイクをつなぎます)。
- 16) **KEY**
  - 回転させてキーのレベルを調節します (カラオケモードを有効にするにはマイクをつなぎます)。
- 17) **VOICE CANCEL**
  - 押すと、人の声をキャンセルするか、元に戻ります (カラオケモードを有効にするにはマイクをつなぎます)。

**注:**

- スマートDJを使用して音楽のリズムを分析したり、フランジャーで音を変えたり、位相整合や反復などのDJエフェクトをミックスすることができます。
- スマートDJを使用すると、速い音楽のリズムを再生することができます (クラブ、ヒップホップ、テクノなど...)
- USBソースにより、スマートDJは連続した音楽を流し、2つのサンプル間の空隙を満たすことができます。

**LEDの状態**

⏻	○ オフ	電源オフ
	○ 白色 (点灯)	電源がオン
📶	● アンバー色 (点灯)	スタンバイ
	○ オフ	未接続
	○ 白色 (点灯)	接続済み
<b>BASS BOOST</b>	○ 白色 (点滅)	ペアリング
	○ オフ	オフ
<b>VOICE CANCEL</b>	○ 白色 (点灯)	オン
	○ オフ	オフ
<b>R/Lチャンネル</b>	○ 白色 (点灯)	オン
	○ オフ	オフ
<b>SMART DJ</b>	○ 白色 (点灯)	オン
	○ オフ	オフ

**警告:**

- スピーカーのライトが点灯または点滅している時に、発光部を直接見ないでください。

## 3.2 DJパッド

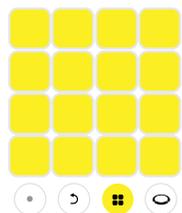
### カラー・コントロール

○ を押すとカラー・コントロール・モードに入り、次にどれかDJコントロール・キーを押して、すぐ隣のPartyBoxおよびリストバンド両方のライト向けのカラーを選択します。カラーは5秒間そのままです。カラーを点灯したままにするには、2秒間DJコントロール・キーを押し続けます。

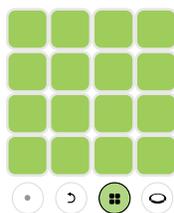


### サウンド・エフェクト

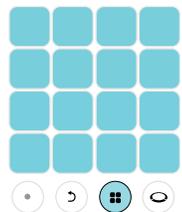
■ を繰り返し押して、サウンド・エフェクトモードを選択します(ドラム/キーボード/ピアノ/DJカスタマイズ)。



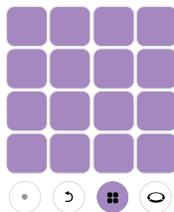
ドラム(デフォルト)



キーボード



ピアノ



DJエフェクト

### エフェクトのカスタマイズ



カスタマイズ・エフェクト (MP3フォーマットのみに対応)。

1. USBスティックを差し込んでください。
2. USBソースを選択するには、繰り返し を押してください。
3. を繰り返し押して、カスタマイズ・エフェクトを選択します。
4. USBに保存されたサウンド・サンプルがロードされます。ローディング中、全てのキーは順番に明るくなったり、暗くなったりします(サンプルは最高16サンプルまで、アルファベット順にロードされます)。

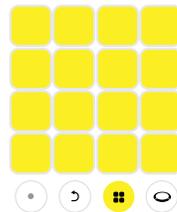
### 注:

- MP3フォーマットにのみ対応。
- アップロードされるサンプルは、USBスティックの最初の16サンプル、合計96秒間がリミットです。
- いったんサンプルがロードされると、USBスティックを取り外すことができますが、サンプルは電源を切って入れ直した後は元に戻りません。

### MP3対応フォーマット

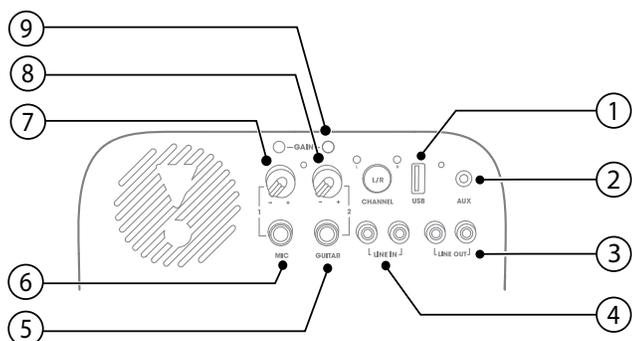
拡張子	コーデック	サンプリング・レート	ビットレート
MP3	MPEG1 レイヤー2/3	32 / 44.1 / 48	32 / 40 / 48 / 56 / 64 / 80 / 96 / 112 / 128 / 160 / 192 / 224 / 256 / 320
	MPEG2 レイヤー2/3	16 / 22.05 / 24	8 / 16 / 24 / 32 / 40 / 48 / 56 / 64 / 80 / 96 / 112 / 128 / 144 / 160
	MPEG2.5 レイヤー3	8 / 11.025 / 12	8 / 16 / 24 / 32 / 40 / 48 / 56 / 64 / 80 / 96 / 112 / 128 / 144 / 160

### レコーディング・ループ



1. ● を押してレコーディングを開始すると、レコーディング・ボタンが赤色で点滅します。
2. 押すとDJパッドを再生します。
3. ● を押すとレコーディングがストップします(30秒後にレコーディングが自動的にストップします)。
4. ● を押すと、新しいサンプルを記録します。新しく記録されたサンプルは、以前記録されたサンプルとループ状態になり、繰り返し再生されます。最後に記録されたサンプルは、最初のサンプルよりも短いか、同じ長さです。
5. を押すと、最後に記録されたサンプルを削除します。記録された全てのサンプルを削除するには、 を2秒間押し続けます(最高8つのトラックを記録できます)。

### 3.3 背面パネル



#### 1) USB

- USBストレージ・デバイスに接続します。
- 外部USBデバイスを充電します。

#### 2) AUX

- オーディオ・ケーブルで外部オーディオ・デバイスに接続します。

#### 3) LINE OUT

- RCAオーディオ・ケーブルで別のアナログ・デバイスのアナログ・オーディオ入力ジャックに接続します。

#### 4) LINE IN

- RCAオーディオ・ケーブルでアナログ・デバイスのアナログ・オーディオ出力ジャックに接続します。

#### 5) ギター

- ギターに接続します(付属せず)。

#### 6) MIC

- マイクに接続します(付属せず)。

#### 7) VOLUME(MIC)

- つまみを回転させてマイクのボリュームをお好みの大きさに調整します。

#### 8) VOLUME(GUITAR)

- つまみを回転させてギターのボリュームをお好みの大きさに調整します。

#### 9) ゲイン

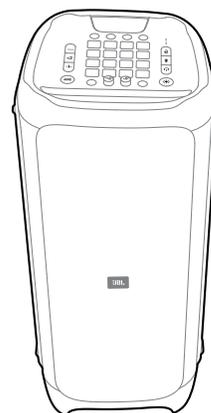
- ギターとマイクの異なる感度を同期させる、ギターとマイクのゲイン・コントロール・ボタン

## 4. 設置

### 注:

- スピーカーの上に座ったり、押ししたりしないでください。故障したり、ケガおよび/または所有物の損傷の原因になることがあります。

スピーカーを平らな安定した面に縦向きに置き、ゴム足の付いた面が下になっていることをご確認ください。

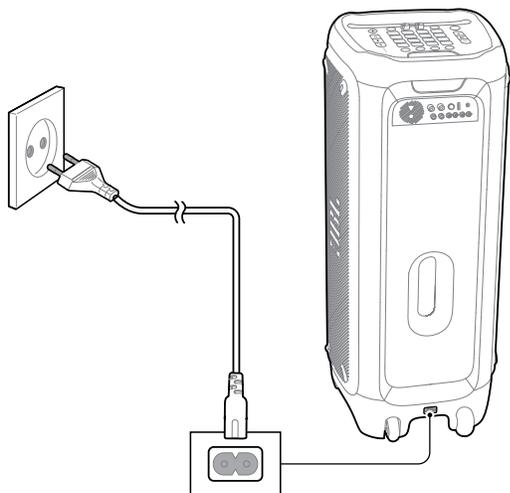


## 5. 電源をオン

### 警告:

- 付属の電源コード以外は使用しないでください。

電源コードの片方の端をスピーカー背面の電源コネクタに差し込み、次に、電気が来ているAC(主電源)コンセントのもう片方の端を差し込んでください。

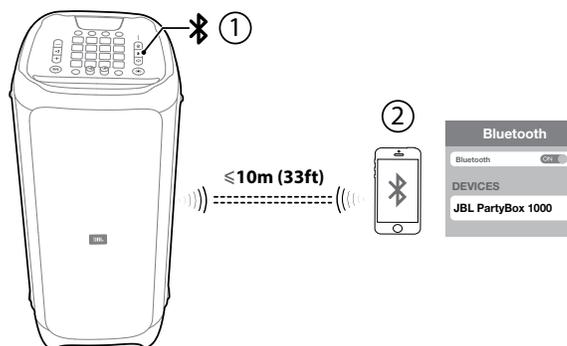


## 6. PARTYBOXを使う

### 6.1 Bluetooth接続

Bluetooth対応のスマートフォンまたはタブレットの外部スピーカーとして、PartyBoxを使用することができます。

1. 押すと、Bluetoothペアリングモードに入ります。
2. 接続するには「JBL PartyBar 1000」を選択
3. 接続に成功すると、Bluetooth対応デバイスからこのスピーカーにオーディオをストリームします。



### 注:

- このスピーカーには、最大で8台のペアデバイスを記憶させることができます。9台目のデバイスをペアにすると、最初のデバイスは消去されます。
- Bluetooth対応デバイスの接続時にPINコードの入力を求められた場合は、「0000」と入力します。
- Bluetoothのパフォーマンスは、本製品とBluetooth対応デバイス間の距離と、操作環境に影響される可能性があります。

### Bluetooth対応デバイスの接続を解除するには:

- このスピーカーの電源をオフにします。
- お持ちのデバイスのBluetooth機能を無効にします。または
- Bluetooth操作可能範囲外にこのスピーカーを移動させます。

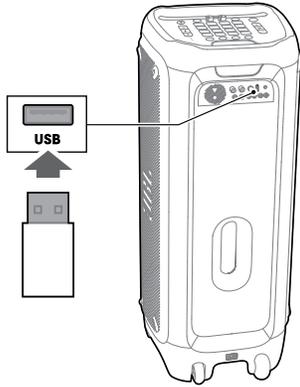
### Bluetooth対応デバイスを再接続するには:

- 次にこのスピーカーの電源を入れた時、最後に接続したデバイスに、自動的に再接続を試みます。
- そうならない場合は、Bluetooth対応デバイスで「JBL PartyBox 1000」を手動で選択し、接続を開始します。

## 6.2 USB接続

PartyBoxでは、USBストレージ・デバイスに保存された音楽をお楽しみいただけます。

**JBL PartyBox**のUSBポートにUSBストレージ・デバイスを差し込み、USBソースに切り替えます。音楽が自動的に再生されます。そうならない場合は、USBデバイスの対応オーディオファイル・フォーマットが下の表に記載されているかどうかをチェックしてください。

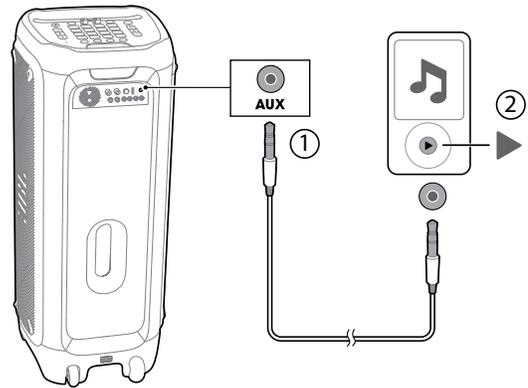


### オーディオ・フォーマット

拡張子	コーデック	サンプリング・レート	ビットレート
WAVE	PCM	8 / 11.025 / 12 / 16 / 22.05 / 24 / 32 / 44.1 / 48	384 / 529.2 / 576 / 768 / 1058.4 / 1152 / 1536 / 2116.8 / 2304
MP3	MPEG1 レイヤー2/3	32 / 44.1 / 48	32 / 40 / 48 / 56 / 64 / 80 / 96 / 112 / 128 / 160 / 192 / 224 / 256 / 320
	MPEG2 レイヤー2/3	16 / 22.05 / 24	8 / 16 / 24 / 32 / 40 / 48 / 56 / 64 / 80 / 96 / 112 / 128 / 144 / 160
	MPEG2.5 レイヤー3	8 / 11.025 / 12	8 / 16 / 24 / 32 / 40 / 48 / 56 / 64 / 80 / 96 / 112 / 128 / 144 / 160
WMA		8 / 11.025 / 16 / 22.05 / 32 / 44.1/48	5 / 6 / 8 / 10 / 12 / 16 / 20 / 22 / 32 / 36 / 40 / 44 / 48 / 64 / 80 / 96 / 128 / 160 / 192 / 256 / 320

## 6.3 AUX端子接続

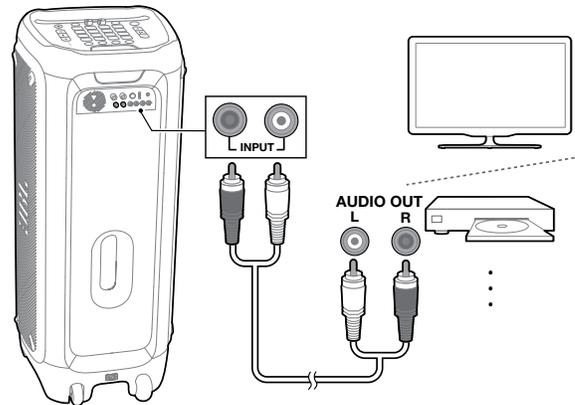
- オーディオケーブルを接続し、次のAuxソース（別売）に切り替えます：
  - ポータブル・オーディオ・デバイスのヘッドホン・ソケット。
  - このスピーカーの**AUX**コネクタ。
- ポータブル・オーディオ・デバイスの電源を入れると再生が始まります。



## 6.4 LINE IN

以下の2つに1組の**RCA**オーディオ・ケーブル(赤色/白色、別売)を接続：

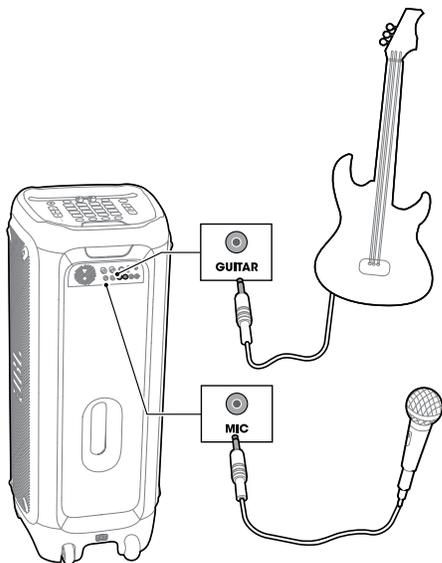
- アナログ・デバイス(TV、DVDプレーヤーなど)の**RCA**オーディオ出力ソケット(赤色/白色)。
- このスピーカー背面の**LINE IN (L/R)**コネクタ。



## 6.5 マイクまたはギターのミックス・サウンド

マイク(別売)またはエレキギター(別売)を使用すれば、オーディオ・ソースにマイクとギターのサウンドをミックスすることができます。

1. **MIC/GUITAR**の音量つまみを回転させて、ボリュームをお好みの大きさに調整します。
2. このスピーカーの**MIC/GUITAR**ジャックに、お持ちのマイクまたはギターを接続してください。
3. マイクを通して歌うか、ギターを演奏します。
  - オーディオ・ソースのボリュームを調整するには、**+ / -** を押します。
  - マイクまたはギターのボリュームを調整するには、**MIC/GUITAR**ボリュームノブを回します。



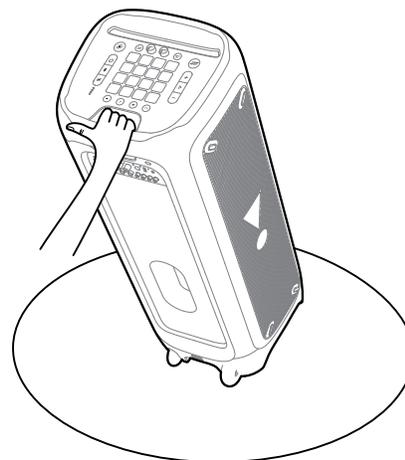
### 警告:

- マイクまたはギターを使用しない場合は、**MIC/GUITAR**ボリュームを最小にし、ジャックからプラグを外してください。

## 7. 移動

### 警告:

- スピーカーを移動させる前に、全てのコードが外されていることをご確認ください。
- ケガや所有物の損傷がないように、持ち運ぶ際は製品をしっかりと持つてください。



## 8. エアジェスチャー・リストバンド

### 8.1 電源オン/オフ

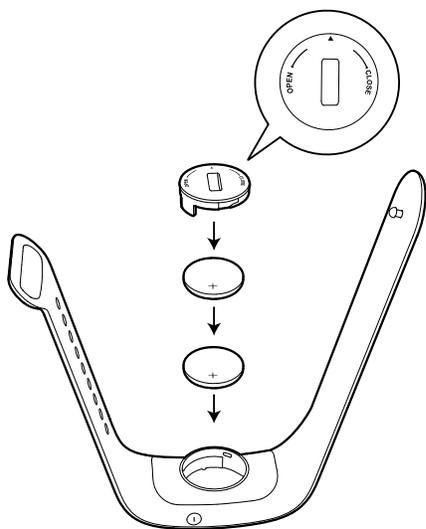
- ①を押してエアジェスチャー・リストバンドの電源を入れると、自動的にPartyBoxとペアになります。
- ①を押すと、エアジェスチャー・リストバンドの電源が切れます。

### 8.2 電池の交換

#### 注:

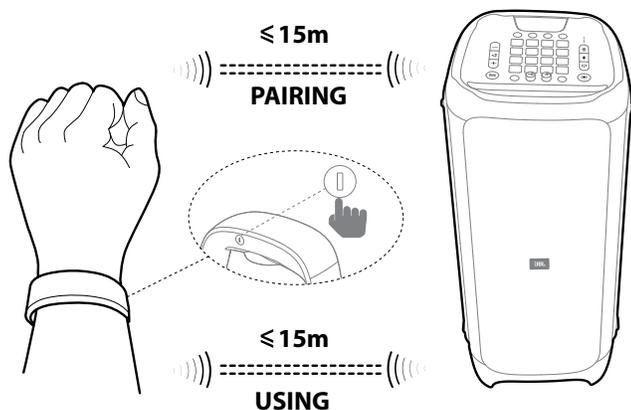
- DJリストバンドは電池で動いています。リストバンドの電池が切れると赤色で点滅し始め、5分間の再生の後、電源が切れます。

完全に外れるまで、電池カバーを矢印の方向に回して開けてください。電池(3V)を挿入し、電池カバーを元の位置に戻してください。



#### 注:

- エアジェスチャー・リストバンドは最も近くにあるPartyBox 1000に自動的に接続されます。



### 8.3 ジェスチャーによる、エアジェスチャー・リストバンドを使ってのPartyBoxのコントロール

#### 注:

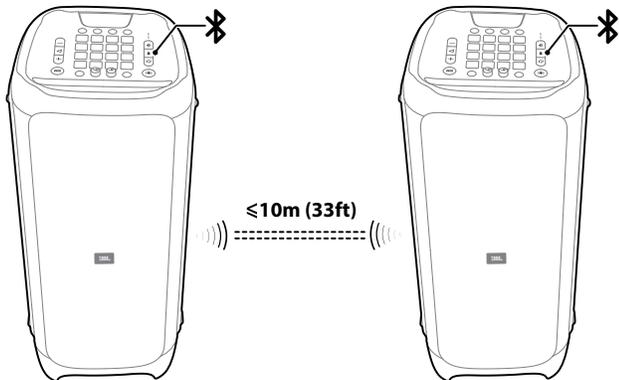
- 回転半径は20cm以上必要です。

ジェスチャー	動作
手をたたく  x2	サウンド・エフェクト1を再生
シェイクする  x4	サウンド・エフェクト2を再生
回転させる 	ライトパターンの切替

## 9. 設定

### 9.1 TWSモード

2台のPartyBox 1000スピーカーはTWSモードで互いに接続させることができます。



1. 両方のスピーカーの ✱ を5秒間同時に押し続けると、スピーカーがペアリングモードになったことを知らせるトーンが聞こえます。TWS接続になると、異なるトーンが聞こえます。
2. 片方のスピーカーの L/R ボタンを押してLチャンネル、Rチャンネル、ステレオを切り替えます。もう一台のスピーカーでは自動的に設定が変更されます。デフォルトでは、お持ちのデバイスに接続されている最初のスピーカーがメインスピーカー (Lチャンネル) で、もう片方はセカンダリー・スピーカー (Rチャンネル) です。

### 9.2 デモモード

#### 警告:

- デモモードに入るには、PartyBoxの電源がACであることをご確認ください。
- AC電源のプラグを抜くと、PartyBoxの電源は切れます。再度AC電源を差し込んだ場合、PartyBoxは自動的にデモモードに入ります。

デモモードに入る、またはデモモードを終了するには、5秒間同時に ▶ と **BASS BOOST** を押し続けてください。

デモモードでは、全ての入力ソース、+/-/▶/ **BASS BOOST** 以外の全てのボタンが無効になります。

#### 注:

- PartyBoxには、3x30秒間の音楽トラックが内蔵されています。

#### 再生

- ▶ を一度押すと再生を開始、一時停止、または再び再生します (1つのサンプルが30秒間だけ再生されます)。
- 一時停止後に ▶ を1回押すと、次のトラックを再生します。

### 9.3 スタンバイモード

スタンバイモード機能は、スピーカーが20分間使用されていない場合のみ、設定することができます。スタンバイモードを終了するには、✱ または ⏻ を押します。

## 10. 仕様

- 製品名: PartyBox 1000
- AC電源入力: 100-240V~50/60Hz
- 電力消費量: 150W
- スタンバイ時の電力消費量:  
BT接続時で2W未満。  
BT未接続時で0.5W未満。
- USB出力: 5V = 2.1A
- スピーカードライバー: 12インチSubwooferx1+7インチミッドレンジx2+コンプレッション・ドライバーx1
- スピーカー・インピーダンス: Subwoofer 3Ω/ミッドレンジ 4Ω/コンプレッション・ドライバー 4Ω
- トータル出力: 1100W
- 周波数特性: 30Hz~20kHz (-6dB)
- 信号対ノイズ (S/N) 比: 80dB
- リストバンド電池の再生時間: 6時間
- Bluetoothバージョン: 4.2
- Bluetoothプロファイル: A2DP V1.3、AVRCP V1.6
- Bluetoothトランスミッター周波数帯域: 2402~2480MHz
- Bluetooth最大トランスミッター出力: 15dBm (EIRP)
- Bluetoothトランスミッター変調: GFSK、π/4 DQPSK、8DPSK
- Bluetoothレンジ: 約10m (33フィート)
- USBファイルシステム: FAT16、FAT32
- USBファイル・フォーマット: .mp3、.wma、.wav
- エアジェスチャー・リストバンド: BLEテクノロジー
- 寸法(幅x高さx奥行): 397x1050x390mm/15.6x41.3x15.4インチ
- 正味重量: 34.7kg/76.5ポンド

## 11. トラブルシューティング

### 警告:

- 絶対に、ご自身で本製品を修理しようとししないでください。この製品の使用中に問題がある場合は、点検を要求する前に以下の点をチェックしてください。

### システム

製品の電源が入らない。

- コンセントとPartyBoxに電源コードが正しく差し込まれているかどうかをチェックしてください。
- 「エアジェスチャー・リストバンド」の電池を新しいものに交換し、再度電源を入れてください。

### サウンド

PartyBoxから音が出ない。

- PartyBoxの電源が入っていることをご確認ください。
- 音量が適切なレベルになっていることをご確認ください。
- PartyBoxが音楽ソースに接続されていることをご確認ください。音楽ソースで音量調節ができる場合は、適切なレベルになっていることをご確認ください。

### Bluetooth

PartyBoxにデバイスが接続できない。

- デバイスのBluetooth機能が使用可能かどうかをチェックしてください。
- すでにPartyBoxが別のBluetooth対応デバイスに接続されている。接続を解除するには  を押し続け、新しいデバイスとペアにします。

接続したBluetoothデバイスからのオーディオ品質が悪い。

- Bluetoothの受信状態が悪い。デバイスをPartyBoxにもっと近づけるか、デバイスとPartyBox間にある障害物をどけてください。

## 12. 法令順守

本製品は欧州連合エネルギー基準を順守しています。

### Bluetooth接続モード

本製品はBluetooth接続経由で音楽をストリーミングして使用することを想定しています。お客様はスピーカーにBluetoothオーディオをストリーミングすることができます。本製品をBluetooth接続する場合、確実に適切な動作をするように、Bluetooth接続は常にアクティブなままでなければなりません。

本製品は、20分間操作しない場合スリープモード(ネットワーク接続したままのスタンバイ状態)に入りますが、スリープ時の消費電力は2.0W未満で、その後Bluetooth接続で再アクティブ化することができます。

### Bluetooth接続解除モード

本製品は、20分間操作しない場合スタンバイモードに入りますが、スタンバイ時の消費電力は0.5W未満です。

---

## 13. 使用許諾



Bluetooth®のワードマークとロゴはBluetooth SIG, Inc.の所有する登録商標であり、ハーマン・インターナショナル・インダストリーズ株式会社(HARMAN International Industries, Incorporated)によるこの商標のいかなる使用もその許可を得ています。他の商標および商標名は各所有者に属します。



ハーマン・インターナショナル・イン  
ダストリーズ株式会社 (HARMAN  
International Industries, Incorporated)  
8500 Balboa Boulevard, Northridge, CA  
91329 USA  
[www.jbl.com](http://www.jbl.com)

© 2022 HARMAN International Industries, Incorporated(ハーマン・インターナショナル・インダスト  
リーズ株式会社)。無断複写・転載を禁じます。JBLは、ハーマン・インターナショナル・インダストリー  
ズ株式会社(HARMAN International Industries, Incorporated)の、米国および/またはその他の国々の  
登録商標です。特徴、仕様および外観は、予告なしに変更されることがあります。